

「自らの命は自らが守る」意識を持ち

適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則です。

問い合わせ 危機管理課防災・消防担当

知っておくべき5つのポイント

1



避難とは、「難」を「避」けること
安全な場所にいる人まで避難場所に行く
必要はありません。

2



避難先は、小・中学校、公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅に避難すること**も考えてみましょう。日頃から相談しておきましょう。

3



体温計、消毒液、マスクが不足しています。
できるだけ**自ら携行**してください。

4



市が指定している**避難場所、避難所が変更・増設されている可能性**があります。災害時には**市ホームページ・防災行政無線(広報塔)**などで確認してください。

5



豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。
やむを得ず**車中泊をする**場合は、浸水しないよう
周囲の状況等を十分確認してください。

ハザードマップ 検索



国土交通省
ハザードマップ
ポータルサイト



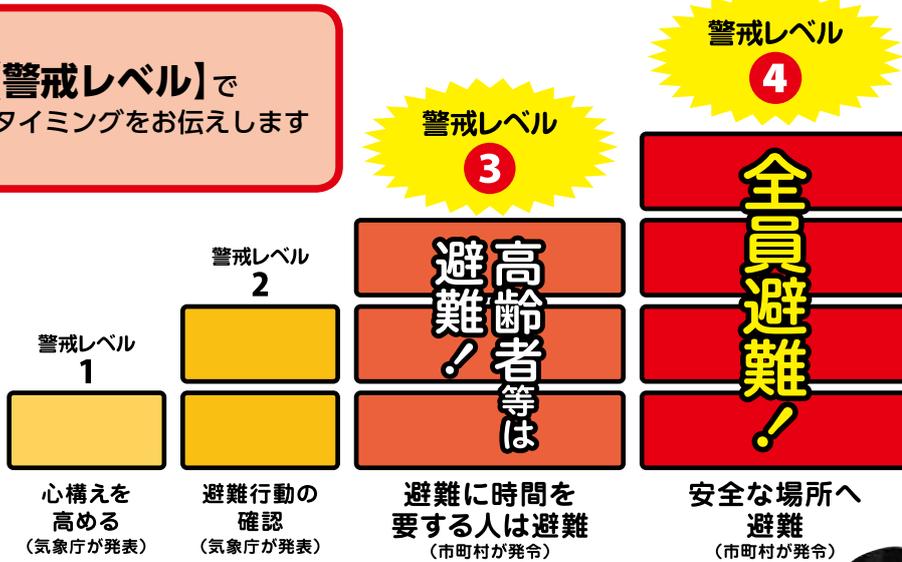
自宅が安全か確認しましょう

日高市ハザードマップは、市役所、公民館で配布しているほか、市ホームページでも確認できます。



市防災関連情報

【警戒レベル】で
避難のタイミングをお伝えします



いざという時のために、避難行動を確かめておきましょう

ハザードマップで自分の家がどこにあるか、印をつけてみましょう

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも、災害が起こる可能性があります。



家がある場所に
色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として
自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、以下のいずれかに当てはまる場合は自宅にとどまり、安全確保することも可能です。

- 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
- 浸水する深さよりも高いところにいる
- 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は、自宅にとどまり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する人は
避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいても
身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3で
安全な親戚や知人宅へ

いいえ

警戒レベル3で
市が指定している
指定緊急避難場所へ

はい

安全な場所に住んでいても
身を寄せられる親戚や知人はいますか？

いいえ

警戒レベル4で
安全な親戚や知人宅へ

警戒レベル4で
市が指定している
指定緊急避難場所へ